

市町村名	久米島町							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	優良雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	34,200	34,200	31,985	26,625	22,925	
		(b) 予算現額	34,200	34,200	31,985	26,625	22,925	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	34,200	34,200	31,985	26,625	22,925	
	B. 執行済額		32,041	34,200	31,618	25,574	22,925	
	うち交付金充当額		25,632	27,360	25,294	20,459	18,340	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		93.7%	100.0%	98.9%	96.1%	100.0%	
予算の状況の説明		優良雌牛導入頭数を50頭とし、当初予算においては22,925千円を計上し、事業を執行した。事業実施の目的、効果、成果目標等の達成状況を鑑み適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	R3導入目標:50頭		目 標	(80頭)	(70頭)	(60頭)	(50頭)	
			実 績	81頭	73頭	62頭	54頭	
達成状況説明		令和3年度において優良繁殖雌牛の導入を行った。予定より安価に購入することができたため、目標の50頭に対し54頭導入することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
			目 標	()	(107%以上)	(105%以上)	(105%以上)	()
	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合		実 績		104%	104%	106%	
	進捗状況説明		優良雌牛から生まれた子牛の平均価格624,915円、そうでない牛から生まれた子牛の平均価格589,155円となっており、価格差は106%で目標値を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・導入効果により、価格差が徐々に上がってきている。	・導入効果を発揮するには、出荷頭数に対する導入牛の子が全体の21.4%（R3年度平均）で、導入牛の孫が全体の2.8%で、合わせて24.3%となっているが全体の50%を目指す必要がある。
今後の取り組み方針		
・JAと連携し、事業の早期着手をすることにより、事業の早期完了を目指す。 ・本事業で導入した牛から生まれた優良な子牛を次の世代の母牛とすることで増頭や適切な更新を行うよう促し、畜産業の拡大・振興を図る。 ・新規就農者や畜舎増築をした者を優先に、導入牛を割当し、母牛増頭にに向けた取り組みを行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61,473</td><td>22,925</td><td>18,340</td><td>4,585</td><td>38,548</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	61,473	22,925	18,340	4,585	38,548
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
61,473	22,925	18,340	4,585	38,548										
久米島町 22, 925千円 補助金 22, 925千円 JAおきなわ久米島支店 22, 925千円 （優良繁殖雌牛導入補助） （組合負担分（交付対象外経費） 38, 548千円														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県農業協同組合であり、交付要綱に基づき選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は畜産業の進行を図る上で必要な経費であり、適正な規模であった。 ○受益者は沖縄県農業協同組合久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-②	水産物加工場機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	水産物加工品が安定生産、安定供給できる体制を整え、出荷量の増加を図るため、水産物加工処理施設の生産機能強化への支援を行う。					
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)					
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,016			
		(b) 予算現額	26,556			
		(c) 増減額(b-a)	540			
		(d) 繰越額	0			
		A. 計(b+d)	26,556			
	B. 執行済額		26,496			
	うち交付金充当額		21,196			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		99.8%			
予算の状況の説明		当初、真空包装機2台、急速冷凍機(液令・テクニカン凍結)1台、高速脱水機4台、アーサほぐし機1台、専用運搬保冷コンテナ4台、レトルト釜1台、急速冷凍機(空冷・プロトン凍結)1台の導入を予定していたが、9月補正にて冷凍ショーケース1台分の予算540千円を増額した。 不用額60千円については精算額決定に伴う減によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R3年度			
	加工機械の整備 ・真空包装機・急速冷凍機 ・高速脱水機・アーサ洗浄前ほぐし機 ・レトルト釜・専用運搬保冷コンテナ ・冷凍ショーケース	目 標	(整備)	()	()	
		実 績	整備完了			
達成状況説明	当初予定していた真空包装機2台、急速冷凍機(液令・テクニカン凍結)1台、高速脱水機4台、アーサほぐし機1台、専用運搬保冷コンテナ4台、レトルト釜1台、急速冷凍機(空冷・プロトン凍結)1台に加え、直営販売を強化するため冷凍ショーケース1台を変更にて追加し、R3年度ですべての機材の設置が完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(年度)
	水産物加工処理施設で製品化された水産物の出荷量130,000kg以上／年	目 標	()	(130,000kg)	()	()
		実 績		119,574kg		
	水産物加工処理施設で製品化された水産物の直売実績(目標)500千円	目 標	()	(500千円)	()	()
		実 績		212千円		
	進捗状況説明	・R3年度の水産加工物商品別売上より出荷量実績及び直売所の売上額を確認した。R3年度中での機材設置となっており、主要な機材は5月～8月での設置となり稼働するまでに時間を要したこともあり、出荷量、直売実績ともに目標に届かなかった。				

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（水産加工物の出荷量増加） ・従来の店舗・対面販売からネット通販による受注も含めた販売計画を立てていたが、本事業で導入する機材が納品されたのは5月～8月（主要な機材）であり、納品までの間は従来の設備、手作業等で製造を行ったことから、需要に対して供給が間に合わず目標を達成することができなかった。 （水産物直売実績） 直売所売り上げについても、冷凍ショーケースの設置が3月頃になったこともあり令和3年度中の売上増とならなかった。	（水産加工物の出荷量増加） ・R3年度で機材の導入が完了したことから、年間を通して消費者が求める商品を迅速に量産することが可能となった。新型コロナの影響等もあり今後はネット受注による宅配扱いの販売に急速に移行していくことが想定されることから、ネット通販を強力に推し進めていく必要がある。 （水産物直売実績） 直売所に設置した冷凍ショーケースを活用し、島内の消費者に向けた販売にも力を入れて出荷量増及び直売所売上増を図る。
今後の取り組み方針		
（水産加工物の出荷量増加） ・本事業はR3年度で完了となるが、今後もR3年度に設定した目標値以上の出荷量を維持できるよう引き続き販売方法(SNSを活用する等)を検討していく。 （水産物直売実績） ・島内は台風等の影響で船舶が欠航し、食料品が品薄になる状況も多いが、直売所で水産物加工品を安定供給することで島内での消費を促進し、更なる生産強化を図っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>36,431</td><td>26,496</td><td>21,196</td><td>5,300</td><td>9,935</td></tr></table> 久米島町 26, 496千円 補助金 26, 496千円 久米島漁協協同組合 26, 496千円 （水産物加工場機能強化事業） （組合負担分（交付対象外経費） 9, 935千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	36,431	26,496	21,196	5,300	9,935
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
36,431	26,496	21,196	5,300	9,935										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である久米島漁協協同組合は交付要綱に基づき選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費（税抜き）の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	久米島町										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-①		久米島紬販売促進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ウ		
担当部署名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)		
事業内容	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
			(a)当初予算額		2,500	2,579	1,692	1,630	2,106		
			(b)予算現額		2,500	2,579	1,692	1,630	2,106		
			(c)増減額(b-a)		0	0	0	0	0		
			(d)繰越額		0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)		2,500	2,579	1,692	1,630	2,106				
	B. 執行済額		1,797	1,810	1,294	1,017	1,668				
	うち交付金充当額		1,437	1,448	1,035	813	1,334				
	次年度繰越額		0	0	0	0	0				
	執行率(%) (B/A)		71.9%	70.2%	76.5%	62.4%	79.2%				
予算の状況の説明		・不用額438千円については旅費の減額(新型コロナウイルス感染症の影響により県内外の物産展が中止となった為)によるものである。									
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)				達成状況						
	物産展等への出展				H30年度		R1年度	R2年度	R3年度		
					目標	(8回)	(出展)	(出展)	(出展)		
	呉服店(問屋)へのセールス				実績		6回	4回出展	1回	1回	
					目標	(-)	(実施)	(実施)	(実施)		
	新商品開発(10反)				実績		-	別事業で実施	別事業で実施	実施なし	
					目標	(6反)	(開発)	(6反)	(10反開発)		
					実績		6反	6反開発	5反	10反開発	
	達成状況説明		・新型コロナウイルス感染症の影響により県内外の物産展はほとんどが中止となり県内の規模を縮小した物産展1回のみとなった。 ・呉服店(問屋)へのセールスについては、久米島来島の際に紬製品の受注・展示会開催の提案を行った。また、呉服店主催の大規模な物産展が県内で開催され、物産展前日顧客へのユイマール館開放や案内の協力を行った。 ・新商品開発については、10種類の染色方法を用いた反物を染色ごとに1反づつ全部で10反開発し、着物に仕立てた。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)				基準値(年度)		R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,300万円以上				目標		()	(6,000万円以上)	(6,150万円以上)	(6,300万円以上)	()
					実績				6,962万円	5,557万円	6,224万円
	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ②小物売上額 1,200万円以上				目標		()	(1,500万円以上)	(1,550万円以上)	(1,200万円以上)	()
					実績				1,040万円	692万円	768万円
	進捗状況説明		・反物売上額が6,224万円となり目標は下回った。令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により取引先の展示販売会が中止となり開催できなかったことが主な要因である。 ・小物売上額についても同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、島内への観光客が減少し、久米島紬の里ユイマール館への来館者も減り目標を達成することが出来なかった。								

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新型コロナウイルス感染症の影響によりショップへの誘客が見込めない。 ・高額商品の為ECサイトでの販売展開が難しい。 ・反物の問屋からの受注と織子の生産反数に限りがあり、需要の高まりに供給が追いついていない状況である。 ・小物のラインナップが他産地と加工会社と同じことから似たものになっている。	・現在のニーズにあった売れる商品（小物）を制作する必要がある。 ・需要の高まりに対応する為、織子の製作技術向上を強化する取組が必要である。
今後の取り組み方針		
・入客が多く見込まれる夏までに加工場を開拓し、小物商品の選定を行う。 ・アドバイザーを招聘し原価計算や商品分析を行い売れる商品を作成する。 ・生産数量の安定化を図る為、織子のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,854</td><td>1,668</td><td>1,334</td><td>334</td><td>186</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,854	1,668	1,334	334	186
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,854	1,668	1,334	334	186										
久米島町 1,668千円 補助金 1,668千円 久米島紬事業協同組合 1,668千円 〔久米島紬販売促進事業〕 〔組合負担分（交付対象外経費） 186千円〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である紬組合は、紬製造業従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用額は生じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による旅費の減によるものであり、予算規模は久米島紬の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目・使途については精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		久米島町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		久米島特産品販路開拓事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ	
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
Ⅲ-1-(4)							
事業内容	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	11,090	10,229	11,838	9,814	8,367
		(b)予算現額	9,319	10,229	11,838	7,665	8,367
		(c)増減額(b-a)	▲1,771	0	0	▲2,149	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	9,319	10,229	11,838	7,665	8,367
	B.執行済額		7,986	9,425	10,345	6,033	4,456
	うち交付金充当額		6,388	7,540	8,275	4,826	3,564
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.7%	92.1%	87.4%	78.7%	53.3%
予算の状況の説明		不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外における物産展中止によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	県内外での物産展開催、出展(5回)	目標	(8回)	(8回)	(2回)	(5回)	
		実績	6回	6回	2回(オンライン)	3回(内、オンライン開催2回)	
	特産品紹介パンフレット製作	目標	(10,000部)	(韓国語版・7,000部)	(英語10,000部)	()	
		実績	7,000部	韓国語版・7,000部	英語日併記12,000部		
	県外でのビジネスマッチング(1回)	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施なし	
	達成状況説明	・県内外での物産展について、県内3回(タイムス物産展オンライン開催、離島フェア一部オンライン開催、商工会フェア通常開催)出展し、島の特産品のPRを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により県内外物産展が中止となり目標の5回に届かなかった。 ・県外でのビジネスマッチングについて、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止重点措置期間や緊急事態宣言による長期間にわたる自粛で実施することができなかった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度
開催、出展した物産展における島特産品の販売額 3,550万円以上		目標	()	(2,645万円以上)	(3,165万円以上)	(3,550万円以上)	()
		実績		3,268万円	399万円	456万円	
ビジネスマッチングによる新規取引総数 5件		目標	()	()	()	(5件)	()
		実績				実施なし	
進捗状況説明		・新型コロナウイルス感染症の影響により県内外の物産展が中止となり、出店する機会がなかった。タイムスフェアについては昨年度同様オンライン開催を行ったが期待できる売上とらなかった。 ・ビジネスマッチングにおいても新型コロナウイルス感染症の影響により接触機会を得られなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	- 令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大により各種物産展・催事がのきなみ中止となった。新しい生活様式が求められる中で今までの物産展の開催が困難な状況。 7回目を迎える物産展(県内)は来場者および売上は増加傾向にあったがR1年度は来場者は減少している。周知不足と天候不良が要因だと考えられる。(令和2年度、令和3年度はオンライン開催等) - 久米島の旅行ガイドブックが少なく、島内店舗情報量が少ないため、観光客に向けて情報発信が必要である。	- オンライン物産展として特産品を幅広くPR、販売出来たことは、販路拡大に繋がったが、リアル物産展と比較し期待する売上とならない。出来るだけリアル物産展を開催する為、感染症対策や3密を回避する方法を検討する必要がある。 - 物産展の開催場所としては定着しておりリピーターも増えている為、周知方法や周知時期を見直すことで来場者数増加に繋げる。 - 蔓延防止措置が解除され次第に観光客の増加が見込まれており島内の消費喚起促進も期待できる為マップ等の整備を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
- 新しい生活様式の中でも安心安全に開催できる方法を事務局・所管課・出展業者で協議する。 - 周知強化として、SNSを活用する。 - 地域特産品販売促進が図れる島内店舗情報ならびに取扱商品を紹介するマップの製作を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,951</td><td>4,456</td><td>3,564</td><td>892</td><td>495</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,951	4,456	3,564	892	495
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,951	4,456	3,564	892	495										
久米島町 4, 456千円 補助金 4, 456千円 久米島商工会 4, 456千円 久米島特産品販路開拓事業補助金 商工会負担分(交付対象外経費) 495千円														
評価	点 検 項 目	評価に関する説明												
資金の流れ、費目・使途の点検・評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工会であり、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。												
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた物産展への出店回数減により不用が生じた。予算規模はオンライン物産展等開催する上で必要な経費であり適正な規模であった。												
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断して妥当であった。												
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	地域型就業意識向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-イ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進	
事業内容	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額		9,030	10,116	11,369	8,344
		(b)予算現額		9,030	10,116	8,701	7,620
		(c)増減額(b-a)		0	0	▲2,668	▲724
		(d)繰越額		0	0	0	0
		A.計(b+d)		9,030	10,116	8,701	7,620
		B.執行済額		9,030	10,116	7,759	7,620
		うち交付金充当額		7,224	8,093	6,207	6,096
		次年度繰越額		0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	89.2%	100.0%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により島外インターンシップが中止、コーディネーター雇用が5月からとなった為不用額が生じたが、その他の活動については日程変更や取組方法を工夫し実施、活動目標の達成ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①ジョブシャドウイング(小)	目標	(ジョブシャドウイングの実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	一部未実施	
	②インターンシップ(高)	目標	(職場体験実施・支援)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	内容を変更して実施	
	③職場体験(中)	目標	(久米島高校との連携)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	一部未実施	一部未実施	一部未実施 他内容を変更し実施	
	④職業人講話(小高)	目標	(職業体験型イベントの開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	実施	開催	内容を変更し実施	内容を変更して実施	
	⑤教員向けキャリア教育研修	目標	(リーダー育成プログラム)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	内容を変更して実施	
	⑥グッジョブ連携協議会の開催	目標	(協議会の開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	実施	開催	開催	開催	
⑦追跡調査の実施	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
達成状況説明	①ジョブシャドウ(小)についても、6校中2校が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ②インターンシップ(高)は当初島外を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、全生徒島内インターンシップを予定通り実施した。島内インターンシップでは、初の試みとして漁業の漁船へ実際に乗船し追い込み業を体験、JAでは牛農家で牛の出産へ立ち会った。より本町の産業に根付いた体験プログラムとなった。 ③職場体験(中)については、一部の学年が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、取組内容を変更して実施した。 ④職業人講話(小高)⑤教員向けキャリア教育研修については、活動内容をわくわくワーク(職場体験イベント)に変更し、実施した。 ⑥グッジョブ連携協議会の開催⑦過去に本事業を経験した児童生徒が就職活動を始める頃にアンケートを取り、事業効果を検証する追跡調査は予定通り実施した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実 績		小中高 平均84.6%	小中高 平均88.3%		
	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して『良いイメージ』と回答した割合(90%以上)」により本事業の効果を検証する。	目 標	()	()	()	(90%以上)	()
		実 績				86%	
	進 捗 状 況 説 明	本事業を通して就業に対して良い印象を抱いた割合は小学生が95%、中学生が82%、高校生が81%となり、平均86%で目標値を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒の受けれが難しかったり、制限された事業所が複数あり、受入事業所の確保が厳しい。 - 新たな生活様式の中で、これまでどおりの取組が困難。 - 追跡調査の結果から島内就職希望率が低いことがみえてきた。	- コロナ過の中でも受入可能な事業所を慎重に開拓する必要がある。また、小中高の取組が集中し事業所負担にならないよう、各学校と調整し計画的に取組む必要がある。 - ICTを活用した取組など柔軟に対応する体制づくりが必要である。 - 島内企業の魅力、仕事を生み出す力(起業力)を伝える必要がある。
今後の取り組み方針		
- リモートでの講話や実施後の報告会、事前事後アンケートについても、Googleフォームを用いて実施するなどし、一人一台端末(タブレット)を活用した取組を行う。 - 児童生徒のニーズに合った職場体験等事業所へマッチングし、希望に沿った体験を推進し、島内産業の魅力を伝えていくとともに、フリーランスや起業といった視点で本町を担う人材になれることを伝えていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,620</td><td>7,620</td><td>6,096</td><td>1,524</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,620	7,620	6,096	1,524	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,620	7,620	6,096	1,524	0										
久米島町 7, 620千円 → 委託料 7, 620千円 → (株)ケイオーパートナーズ 7, 620千円 〔 就業意識向上支援事業委託 〕														
資金の 使途の 流れ、 検 査 目 的	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、ノウハウ等を勘案した上で随意契約により選定しており妥当であるとする。 ○一部実施困難な取組があった為不用額が生じたが、その他適正な予算規模であった。 ○事業内容から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	観光誘客促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	13,391	12,030	10,520	7,299	8,119	
		(b)予算現額	11,391	9,041	8,882	6,510	8,119	
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 2,989	▲ 1,638	▲ 789	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	11,391	9,041	8,882	6,510	8,119	
	B. 執行済額		9,883	7,517	7,957	5,748	6,275	
	うち交付金充当額		7,906	6,013	6,365	4,598	5,020	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		86.8%	83.1%	89.6%	88.3%	77.3%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響によって県内外のイベントが開催されず、島内イベントの「久米島観光の日」が縮小開催となり、減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)			達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・観光広報活動(「久米島観光の日」イベント開催、県内イベント参加4件、県外イベント参加1件)	目 標	(11件)	(6件)	(3件)	(県内4件 県外1件)		
		実 績	7件	6件	1件	県内 1件 県外 0件		
	・久米島空港観光案内業務	目 標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)		
		実 績	3名	3名	3名	3名		
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外イベントが開催されず参加が見送られたが、島内での久米島観光の日は縮小ながら開催することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)			基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目 標	()	()	()	(80%)	()	
		実 績					未実施	
	②来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目 標	()	()	(80%以上)	(80%)	()	
		実 績				100%	未実施	
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた島外イベントが実施がなされなかったため、来場者アンケートを実施することができなかった。また本町発出で島外からの来島自粛要請も影響し、観光を目的とした空港利用者が極めて少なく、観光に関するアンケートを集計ができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(アンケート) 新型コロナウイルス感染症の影響による島内外イベントの中止で観光客との接触が図れずサンプル数を確保することができなかった。	(アンケート) 島内外でのイベントが軒並み中止になっていたが、徐々に再開され始めている現状を鑑み、効率的に本町をPRできるイベントを選定する必要がある。また、予定していたイベントが中止になることも予想し、柔軟に他イベントへの出店等を考える必要がある。 空港観光案内業務でのアンケートについては、非接触型(QRコード)アンケートの掲載箇所を増やし、実施を図る。
今後の取り組み方針		
(アンケート) 効率的なPRができるイベントを精査し参加していく。また観光案内所の利便性についてのアンケートは空港案内所のみならず、空港待合所スペース等の掲載スペースを増やしていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,275</td><td>6,275</td><td>5,020</td><td>1,255</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,275	6,275	5,020	1,255	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,275	6,275	5,020	1,255	0										
<pre> graph LR A[久米島町 6,275千円] --> B[委託料 6,275千円] B --> C[一般社団法人久米島町観光協会 5,977千円] B --> D[一般社団法人久米島町観光協会 298千円] C --- E[久米島空港観光案内業務] D --- F[久米島観光広報推進業務] </pre>														
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○当初計画していたイベント内容を変更したため事業費を減額したが、予算規模は観光誘客に必要な経費であり、適正な規模であった。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	体験交流型観光商品開発販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
事業内容	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び民泊受入体制の整備・強化を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,101	10,062	7,841	5,087	9,998	
		(b)予算現額	9,038	8,537	5,184	10,809	9,998	
		(c)増減額(b-a)	▲1,063	▲1,525	▲2,657	5,722	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	9,038	8,537	5,184	10,809	9,998	
	B.執行済額		8,047	6,172	3,890	6,428	6,154	
	うち交付金充当額		6,437	4,937	3,112	5,142	4,923	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		89.0%	72.3%	75.0%	59.5%	61.6%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行決定校が中止となり、見込んでいた修学旅行助成金の大幅な減額があった。また、民泊受入体制の強化として予定していた研修等も新型コロナウイルス感染症の影響により開催ができず、減額となった。一方、教育旅行推進強化の模擬体験招聘事業についてはコロナ後を見込んだ方面変更の影響で数量増加に伴い、増額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)			達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・観光体験プログラムの販売促進	目 標	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの構築)		
		実 績	体験プログラムの構築	体験プログラムの構築	体験プログラムの構築	体験プログラムの構築		
	・民泊受入体制の整備、強化	目 標	(受入整備、強化)	(受入整備、強化)	()	(受入整備、強化)		
		実 績	受入整備、強化	受入整備、強化		未実施		
達成状況説明	・観光体験プログラムの販売促進: R3年度は新規体験プログラムの造成や実施ではなく、既存の体験プログラムを新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、安心安全な体験プログラムを遂行できるよう構築し、一般旅行者、教育旅行の受入を行った。 ・民泊受入体制の整備、強化: 新型コロナウイルス感染症の影響による島内への来島自粛や三密回避があり、予定していた研修が開催ができなかった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)			基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光体験プログラム売上額 14,035,802円以上	目 標	()	(3,591,782円以上)	(17,393,921円以上)	(14,035,802円以上)	()	
		実 績		3,464,292円	580,100円	637,505円		
	【参考指標】 体験プログラム利用者数	目 標	()	()	(656人以上)	(656人以上)	()	
		実 績			150人	194人		
	【参考指標】 民泊事業者数	目 標	()	()	(30戸以上)	(30戸以上)	()	
		実 績			38戸	38戸		
	進捗状況説明	・当初、教育旅行の決定校が8校あったが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセルやR4年度へ延期等があり、1校のみの来島となった。また緊急事態宣言発令により、旅行そのものが制限され、一般旅行者の来島数の減少、体験プログラムの売上及び利用者数は大きく減少した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、講習・研修の実施が困難となり、新たな受入家庭開拓へのリスク軽減にならず、戸数は据え置きとなった。						

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	（体験プログラム） ・長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、体験プログラムの対象者が来島しないことにより、減少となった。 （民泊事業者数） ・定期的な研修や安心安全な受入ができるよう新型コロナウイルス感染症の予防対策とした講習・研修を専門家を招聘して実施予定だったが、緊急事態宣言発令により外部講師の招聘が困難となり、新たな受入家庭への研修不足となり戸数の据え置きとなった。	（体験プログラム） ・昨年度に引き続き、コロナ禍における教育旅行方面変更が予想されるため、教育旅行推進強化の模擬体験招聘事業を活用しながら、来島者数を増やし体験プログラムへと結びつける。 ・教育旅行の中止や延期の可能性も視野に入れ、一般旅行者への利用促進となるプロモーションを行うなど誘導を図る。 （民泊事業者数） ・民泊受入や比較的受入のハードルが低いホームビジットの新たな担い手確保のためにも、定期的な研修や安心安全な受入ができるよう研修の実施が必要のため、専門家への研修方法の見直しを図る。
今後の取り組み方針		
（体験プログラム） ・教育旅行向け体験プログラムでは、事前学習～旅行～事後学習に繋がる、久米島でしかできないプログラムの構築、旅行代理店や学校向けに紹介資料を配布し販売していく。 ・一般旅行者への販売促進として、観光協会HPやSNSでの周知を行い、観光案内所での窓口を活用し積極的に販売していく。 （民泊事業者数） ・新規民泊受入家庭（ホームビジット含む）を増やすために、沖縄県教育旅行民泊取扱指針に基づいた、定期的な研修や新型コロナウイルス感染症の予防に繋がる講習の受講方法をオンライン化する等、研修実施方法の見直しを図る。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,154</td><td>6,154</td><td>4,923</td><td>1,231</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,154	6,154	4,923	1,231	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,154	6,154	4,923	1,231	0										
久米島町 6,154千円 → 委託料 6,154千円 → 一般社団法人久米島町観光協会 6,154千円 （体験交流型観光商品開発販売促進事業委託）														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は特殊な業務内容であったため、随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定していた教育旅行の学校数が新型コロナウイルス感染症等の影響により減ったため、修学旅行助成金の大幅な減額があったが、予算規模は目標を達成するために必要とされる適正な規模になっている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、事業目的達成の観点から必要なもののなか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	航空運賃コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000	19,000	16,200	15,700	
		(b) 予算現額	17,000	17,000	13,500	15,700	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,000	▲ 2,000	▲ 2,700	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	17,000	17,000	13,500	15,700	
	B. 執行済額		15,536	15,391	8,358	9,261	
	うち交付金充当額		12,428	12,312	6,686	7,408	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		91.4%	90.5%	61.9%	59.0%	
予算の状況の説明		当初予算で15,700千円を計上していたが、長引く新型コロナウイルスの影響により入域客が伸びず、5,394千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施		目 標 (航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	
			実 績	航空運賃の補助	航空運賃の補助	航空運賃の補助	
達成状況説明	航空運賃の補助を行い、運賃低減に寄与できた。本事業活用による旅客者は20,274人で、対前年度11.7%増であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
			目 標 ()	(124,000人以上)	(118,000人以上)	(122,000人以上)	()
	久米島町への観光入域者数 122,000人以上		実 績	100,716人	54,783人	54,206人	
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の拡大が長期に渡り、活動自粛等を余儀なくされたことにより入域者数が減少し、目標を達成できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新型コロナウイルスの影響による活動自粛等にて久米島町への入域者数が減となり、目標を達成することができなかった。4月～9月の間、まん延防止重点措置及び緊急事態宣言が発令され、非常に影響が大きかった。	新型コロナウイルスの収束を見据え、今後も本事業による取り組みを継続していくとともに、入域客が利用しやすい事業の在り方の検討及び拡充を行っていく。
今後の取り組み方針		
今後も本事業を活用し、観光入域者及び交流人口の増加を図り、落ち込んだ地域経済の回復を目指すとともに地域活性化を促進していく。 また、「第2次久米島町観光振興計画」を軸に観光誘客に係る各施策の実施し及び受け入れ体制の構築を図っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,265</td><td>9,261</td><td>7,408</td><td>1,853</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,265	9,261	7,408	1,853	4
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,265	9,261	7,408	1,853	4										
久米島町 9,261千円 → 負担金 9,261千円 → 日本トランスオーシャン航空株式会社 1,500千円 （航空運賃低減に係る負担金） （ほか、2月分精算（対象外経費）2千円） → 琉球エアースター株式会社 7,719千円 （航空運賃低減に係る負担金） （ほか、2月分精算（対象外経費）2千円） → 日本航空株式会社 42千円 （航空運賃低減に係る負担金）														
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については久米島と沖縄本島を結ぶ航空会社3社を選定している。費用負担の協定書を締結のうえ実施しており、選定方法は妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず不用が生じたが、予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。											

市町村名	久米島町								
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	3-④	久米島観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ			
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	久米島町の観光誘客を図るため、プロモーションに効果的な戦略を構築し、国内外へプロモーションを実施する。								
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)								
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()								
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	25,380	32,994	19,046	11,242	12,936		
		(b)予算現額	25,380	27,187	17,686	11,242	12,936		
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 5,807	▲ 1,360	0	0		
		(d)繰越額	0	0	0	0	0		
		A. 計(b+d)	25,380	27,187	17,686	11,242	12,936		
	B. 執行済額		25,380	27,187	17,686	11,242	10,450		
	うち交付金充当額		20,304	21,749	14,149	8,993	8,360		
	次年度繰越額		0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.8%		
予算の状況の説明		国内向けプロモーションでは新型コロナウイルス感染症の影響により、モニターツアー参加者が減少し、国外向けプロモーションでは当初予定していた外国からのモニターツアー参加の呼び込みができないため、国内在住外国人へ対象を切り替えたため、旅費が減額となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)			達成状況					
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・国内向けプロモーション	目標	(2社)	(実施)	(実施)	(実施)			
		実績	2社	実施	実施	実施			
	・国外向けプロモーション	目標	(2社)	(実施)	(実施)	(実施)			
		実績	2社	実施	実施	実施			
達成状況説明	国内を対象としたマーケティング業務では、年々減少傾向にあった教育旅行受入がコロナ禍の影響を受け方面変更を行う学校が多く、R3年度も沖縄への訪問拡大が予想され、同マーケットの動向等調査・分析を行い、今後の教育旅行誘致対策への在り方を策定した。 国外向けプロモーションでは、滞在日数や消費額が高い傾向にあるオーストラリア人を対象に久米島旅行に対する意識調査を行い、WEBでのPR、シドニーでのアンテナショップを開設した。またオーストラリア人が魅力を感じる物産品や着地型旅行商品を企画する上でのモニターツアーを実施した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)			基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
				目標	()	(123,073人)	(118,000人)	(122,000人以上)	()
	久米島町への観光入域数:122,000人			実績		100,716人	54,783人	54,206人	
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に届かなかった。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（観光入域数） 新型コロナウイルス感染症の影響により、まん延防止等重点措置期間、緊急事態宣言の発出により、旅行そのものが制限された。	（観光入域数） 新型コロナウイルス感染症の影響で誘客宣伝活動が困難であったが、これまでの意識調査やマーケットの分析を踏まえた、観光資源の磨き上げを行い、観光入域数の増加を図る。
今後の取り組み方針		
新型コロナウイルス感染症の収束時に向け、引き続き観光資源の磨き上げや久米島観光の「ブランド化」を進め、効率的な情報発信を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,450</td><td>10,450</td><td>8,360</td><td>2,090</td><td>0</td></tr> </table> 久米島町 10,450千円 委託料 10,450千円 久米島版DMO推進協議会 10,450千円 久米島観光プロモーション業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,450	10,450	8,360	2,090	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,450	10,450	8,360	2,090	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は団体組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び町財務規則の規定に基づき、随意契約を締結しており妥当であった。 ○予算規模は当初計画していた外国からのモニターツアー参加が困難となり減額となったが、観光振興に必要な経費であり、適正な規模だった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から書類による支出等確認を行い、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	島外保育士確保対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4		
事業内容	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	4,400				
		(b)予算現額	4,400				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	4,400				
	B.執行済額		907				
	うち交付金充当額		725				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		20.6%				
予算の状況の説明		不用額3,493千円については、当初見込んでいた保育士確保数(8名)に満たなかったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度				
	島外保育士の渡航費、転居費の支援		目標	(8件)	()	()	()
			実績	2件			
達成状況説明	当初予定していた8名の保育士確保に向けて、沖縄本島開催の合同就職説明会や町ホームページ、沖縄県保育士・保育所支援センターホームページに掲載し周知を行ったが、確保は2名のみとなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R3年度			目標値(年度)
			目標	(18人 /R3.4.1 時点)	(0人 /R4.4.1時点)	()	()
	保育所等利用待機児童数調査における待機児童数		実績	16人 /R4.4.1時点			
	進捗状況説明	待機児童数の減少に向けて取り組み、前年度待機児童数と比べると2名の減少となったが例年と変わらず10名を超える結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・待機児童の主な年齢が0歳児であり、保育士不足で受入ができないことが要因となっている。 ・2名の保育士を確保することができたが3名の年度途中退職が出たことも待機児童を減少できなかった要因の一つと考えられる。	・保育士を確保することができれば、待機児童の減少にも繋がる。 ・保育士確保に向けて周知先を拡充していく必要がある。
今後の取り組み方針		
・合同就職説明会や町ホームページ、沖縄県保育士・保育所支援センターホームページ掲載は継続的に続け、専門学校や大学へ募集チラシを配布し、校内掲示板への掲載や進路相談室などで配付協力を依頼する。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>907</td><td>907</td><td>725</td><td>182</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	907	907	725	182	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
907	907	725	182	0										
久米島町 907千円 → 補助金 907千円 → 保育業務従事者 （県外1件、県内1件） 907千円 （久米島町島外保育士確保対策事業補助金）														
資金 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である保育士は、交付要綱に基づき選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○離島ということもあり、渡航費用や移動費用が負担となることから予算規模も妥当であったと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○離島で生活するための必需品を揃える経費の一部を支援することは補助事業の内容から妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途についても、精算時に確認等を行い、目的に即し必要なものと判断している。											

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	文化遺産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	久米島博物館	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,050	10,000	10,572	11,362	8,765
		(b)予算現額	9,641	10,500	10,547	11,362	8,752
		(c)増減額(b-a)	▲409	500	▲25	0	▲13
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	9,641	10,500	10,547	11,362	8,752
	B.執行済額		9,641	10,398	10,547	11,302	8,752
	うち交付金充当額		7,712	8,318	8,437	9,042	7,001
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.0%	100.0%	99.5%	100.0%
予算の状況の説明		業務内容の変更はなく、事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・古文書修復 件数	目 標	(230点)	(230点)	(230点)	(229点)	
		実 績	230点	230点	230点	229点	
	・翻刻・口語訳 件数	目 標	(30点)	(30点)	(30点)	(30点)	
		実 績	30点	30点	30点	30点	
	・修復資料速報展示を行う	目 標	()	(展示実施)	(展示実施)	(展示実施)	
		実 績		展示実施	展示実施	展示実施	
	達成状況説明	・事業実施により古文書資料229件の修復及び30件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。 ・これまで当該事業において得られた成果品を展示したロビー展を開催し、当該事業の成果を公開することができた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度
・修復を行った古文書の利用件数		目 標	()	(40件以上)	(120件以上)	(120件以上)	()
		実 績		69件	0件	10件	
・調査利用者		目 標	()	(4名以上)	(5名以上)	(5名以上)	()
		実 績		9名	0名	2名	
・修復資料の見学者数		目 標	()	()	()	(6319人以上)	()
		実 績				2780人	
進捗状況説明		(修復を行った古文書の利用件数・調査利用者) ・新型コロナウイルス感染防止対策により、臨時休館及び来島自粛要請等により、当初予定していた調査が中止となり、目標値を達成することができなかった。 (修復資料の見学者数) ・ロビー展を開催し、当該事業及び成果品を公開活用することはできたが、新型コロナウイルス感染防止対策により、臨時休館及び来島自粛要請等により来館者が減となり、目標値を達成することができなかった。しかし、新たな取り組みとして、修復資料を活用しオンラインの講演会(3回)を開催することができ、当該事業の成果を一部披露することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（修復を行った古文書の利用件数・調査利用者） ・令和3年度に予定された調査が、コロナの影響により自粛または、中止となり、調査件数、調査利用者に影響を及ぼした。しかし、令和4年4月、6月、7月に大規模な調査が予定されており、終了した令和4年4月の調査においては、10名の調査員により1000件以上の調査が行われた。今後も状況に注意しながらも、調査利用促進に向けて取り組む必要がある。 （古文書の利用件数） ・新型コロナウイルス感染防止対策により、臨時休館及び来島自粛要請等により久米島博物館への入館者数が減となり、目標を達成することができなかった。	（修復を行った古文書の利用件数・調査利用者） ・コロナ収束後に迅速に調査が再開されるよう、調査利用者との連絡を密にする。 （古文書の利用件数） ・コロナの状況下においても、町民及び観光客並びに研究者が安心して久米島の文化遺産を活用できるよう、対策を万全にし、成果品の適正な公開、保存・管理に努めつつ、勉強会及び展示会並びに学術利用に寄与する活動を行う。
今後の取り組み方針		
（修復を行った古文書の利用件数・調査利用者） ・成果品の活用を促し、成果品の調査で得られた成果を一般に広く普及する為、調査成果の執筆活動等に寄与する活動を行う。また、久米島博物館のコロナ対策を万全にし、国、県、町の対策方針に注意し、調査利用者が安心して調査を行えるよう務める。 （古文書の利用件数） ・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図り、博物館ロビーにおいて修復古文書の展示を定期的に行い、当該事業の周知を行う。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>8,752</td><td>8,752</td><td>7,001</td><td>1,751</td><td>0</td></tr></table> 久米島町 8,752千円 委託料 8,752千円 紙修復保存工房 8,752千円 〔 古文書修復委託業務 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,752	8,752	7,001	1,751	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,752	8,752	7,001	1,751	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○古文書修復委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○修復事業最終年度として目標を達成するため、必要な事業規模を算出し、事業を実施した。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	英語指導員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,911	1,800	6,632	7,044	7,292
		(b)予算現額	1,911	1,800	6,735	6,937	7,292
		(c)増減額(b-a)	0	0	103	▲107	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	1,911	1,800	6,735	6,937	7,292
		B.執行済額	1,751	1,755	6,735	6,845	7,183
		うち交付金充当額	1,400	1,403	5,388	5,476	5,746
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	91.6%	97.5%	100.0%	98.7%	98.5%
	予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	英語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	目標	(小学校1名)	(小学校2名)	(小学校2名)	(小学校2名)	
		実績	小学校1名	小学校2名	小学校2名	小学校2名	
	達成状況説明	町内小学校6校の3～6年生の外国語活動の時間に、2名の日本人英語指導員を派遣し、外国語授業の支援を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(85%以上)	()
		実績		85%	87%	87%	
		進捗状況説明	児童へのアンケートでは、87%が英語に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標を達成できた。				

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・2名体制となったことで、教諭と指導員の打合せの時間が確保でき、授業の工夫・改善に努めることができた。 ・中学校のALTが不在となったことで中学校での英語教育への取り組みが必要となってきた。	・小学校ばかりでなく中学校も含めて3人体制での運用が必要。 ・英語指導員の研修機会の設定や、連絡会等の定期開催、中学校の英語教諭との連携について検討する。
今後の取り組み方針		
・小学校、中学校への英語指導員の派遣を行う。 ・引き続き担当教諭と指導員の十分な打合せ時間を確保し、連携体制の構築、強化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,720</td><td>7,183</td><td>5,746</td><td>1,437</td><td>537</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,720	7,183	5,746	1,437	537
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,720	7,183	5,746	1,437	537										
<pre> graph LR A[久米島町 7,720千円] --> B[報酬 5,055千円] A --> C[期末手当 1,047千円] A --> D[共済費 1,007千円] A --> E[通勤手当 74千円] B --> B1[英語指導員(2名) 5,055千円] C --> C1[英語指導員(2名) 1,047千円] D --> D1[英語指導員(2名) 1,007千円] E --> E1[英語指導員(2名) 74千円] B1 --- B2[英語指導員報酬] C1 --- C2[英語指導員期末手当] D1 --- D2[英語指導員共済費] E1 --- E2[英語指導員通勤手当] B2 --- B3[ほか、交付対象外経費 434千円] C2 --- C3[ほか、交付対象外経費 103千円] </pre>														
資金の流 点・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 点・費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、英語指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○予算規模は、事業に見合った規模と考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定している、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-②	基礎学力向上学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	7,390	7,109	7,311	8,057	8,777	
		(b)予算現額	6,987	7,109	7,311	7,948	8,777	
		(c)増減額(b-a)	▲403	0	0	▲109	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	6,987	7,109	7,311	7,948	8,777	
	B.執行済額		6,809	6,820	6,805	8,006	8,514	
	うち交付金充当額		5,446	5,456	5,444	6,405	6,811	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.5%	95.9%	93.1%	100%	97.0%	
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施		目 標	(3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	
			実 績	3名配置	3名配置	3名配置	3名配置	
達成状況説明		計画どおり小学校3校に3名の学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)			基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
			目 標	()	(県平均以上)	(県平均+1点以上)	(県平均+2点以上)	()
	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で小学生(5年生・6年生) 県平均+2点以上		実 績		県平均+6点	県平均+4.9点	県平均+5.0点	
	進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、国語、算数で中学年(3年生・4年生)、高学年(5年生・6年生)ともに+5点で目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学級担任と支援員が連携しながら、個に応じた支援に取り組んでいるが、学習支援を必要とする児童が増加してきており、これまで以上に効率的な個別指導を実施する必要がある。	・サポートが必要な児童の学力定着度の実態把握を行い、具体的支援計画を作成することで、十分な指導が行えるよう取り組む。
今後の取り組み方針		
・サポートが必要な児童の学力定着状況を把握し、授業中、補習など個別の指導計画をもとに指導を行う。また、ギガスクール端末の効果的な運用により効果を高める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>8,697</td><td>8,514</td><td>6,811</td><td>1,703</td><td>183</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,697	8,514	6,811	1,703	183
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,697	8,514	6,811	1,703	183										
久米島町 8,514千円 報酬 6,173千円 学習支援員(3名) 6,173千円 〔 学習支援員報酬 〕 〔 交付対象外経費 153千円 〕 期末手当 1,347千円 学習支援員(3名) 1,347千円 〔 学習支援員期末手当 〕 〔 交付対象外経費 22千円 〕 共済費 928千円 学習支援員(3名) 928千円 〔 学習支援員共済費 〕 〔 交付対象外経費 8千円 〕 通勤手当 66千円 学習支援員(3名) 66千円 〔 学習支援員通勤手当 〕														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、基礎学力向上指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額はでたものの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。学習指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
事業内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	30,524	29,539	33,649	39,816	36,816
		(b)予算現額	27,326	29,539	33,649	33,744	36,816
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,198	0	0	▲ 6,072	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	27,326	29,539	33,649	33,744	36,816
	B. 執行済額		26,630	29,099	32,299	34,369	30,983
	うち交付金充当額		21,304	23,278	25,839	27,495	24,786
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.5%	98.5%	96.0%	101.9%	84.2%
予算の状況の説明		特別支援教育支援員について必要な人員を確保できず、2名不足となったため不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	目 標	(小学校11名 中学校4名)	(小学校12名 中学校3名)	(小学校11名 中学校5名)	(小学校13名 中学校2名)	
		実 績	小学校12名 中学校 4名	小学校11名 中学校 5名	小学校9名 中学校7名	小学校 11名 中学校 2名	
達成状況説明	特別支援教育支援員について、小学校においては支援を必要とする児童数を勘案し、目標13名に対して11名、中学校においては、目標2名に対して2名を配置した。小学校1年生に対する配置人員を増やす必要が生じたが、目標人員を配置することはできなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・特別支援教育支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(85%以上)	(85%以上)	()
		実 績		85%	88%	87%	
	進捗状況説明	・支援を必要とする児童生徒に対し特別支援教育支援員を配置したことにより、対象児童生徒の学習環境が充実した。 ・対象児童生徒の保護者への満足度アンケートの結果、満足であると感じた方が87%であったことから、支援員配置の必要性が確認された。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・通常学級に在籍する児童生徒の障害の程度は個人差があり、求められる支援内容が異なるため、個々に必要な支援を行っていくためには、支援員の資質向上を図っていくことが課題である。 ・他の児童生徒に対しても特別支援教育についての理解が得られるよう取り組みが必要。	・連絡協議会を継続して実施し、現場の課題解決及び資質向上につながるような研修内容となるよう、随時見直しを行う。 ・必要となる学校へ配置できるよう人材の確保に努める。
今後の取り組み方針		
・連絡協議会において、支援方法についてうまくいった具体的事例や困っている事案についての情報共有を行う。指導主事が各学校において授業観察を行い指導助言した内容について全体でも共有できるようにする。 ・学校訪問等により、支援を必要とする児童生徒の状況把握に務め、支援員の適正配置に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,466</td><td>30,983</td><td>24,786</td><td>6,197</td><td>483</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,466	30,983	24,786	6,197	483
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,466	30,983	24,786	6,197	483										
<pre> graph LR A[久米島町 30,983千円] --> B[報酬 22,509千円] A --> C[期末手当 4,162千円] A --> D[共済費 4,055千円] A --> E[通勤手当 257千円] B --> B1[特別支援教育支援員 (14名) 22,509千円] C --> C1[特別支援教育支援員 (14名) 4,162千円] D --> D1[特別支援教育支援員 (14名) 4,055千円] E --> E1[特別支援教育支援員 (14名) 257千円] B1 --- B2[特別支援教育支援員報酬] C1 --- C2[特別支援教育支援員期末手] D1 --- D2[特別支援教育支援員共済費] E1 --- E2[特別支援教育支援員通勤手] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定については、特別指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○不用額が生じたものの、適正な予算規模であったと考える。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。特別教育支援員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	久米島町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	島外のひととの競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,000	7,220	6,720	6,767	6,716
		(b)予算現額	4,735	7,220	6,720	5,064	5,574
		(c)増減額(b-a)	▲2,265	0	0	▲1,703	▲1,142
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,735	7,220	6,720	5,064	5,574
	B.執行済額		4,719	6,344	5,414	4,079	4,983
	うち交付金充当額		3,775	5,075	4,331	3,262	3,987
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.7%	87.9%	80.6%	80.5%	89.4%
予算の状況の説明		当初予算では6,716千円を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大により、派遣予定の大会中止や旅程短縮、大会参加辞退等の理由に伴い予算を減額した。その後も同様の理由により、591千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給。		目 標 (派遣延べ人数 650名)	(派遣延べ人数 650名)	(派遣延べ人数 620名)	(派遣延べ人数 610名)	
			実 績	611名参加	601名補助	409名補助	492名補助
達成状況説明		前年度から続く新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う各種大会の中止や日程延期により、参加を辞退した大会またはやむを得ず参加人数や旅程を変更して参加した大会もあり、当初目標の610名には及ばなかったが各種大会に492名(延べ人数)を派遣した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
			目 標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。		実 績	88%	82%	84%	
	進捗状況説明		管内の2中学校に在籍する生徒の保護者に対してアンケートを実施。(回答数112名) 回答のうち94名(84%)が「よい経験をさせてもらっている」「団体行動などを通して成長の様子がうかがえる」「目標をもって行動できるようになった」など肯定的な意見で、目標値は達成したが、物価の上昇などもあるので補助額の見直しを求める声もあった。				

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	新型コロナウイルス感染拡大の影響で各種大会の年間スケジュールが大幅に変更（中止、延期）されたことで、参加できる大会が限られた。また大会への参加人数の縮小や、参加辞退、旅程短縮等が要因となり実績（補助額・派遣延べ人数）が伸びなかった。 ・保護者の中には、「できる限り参加させたいが、その分経済的負担が大きくなる」との理由から補助金増額を求める声もある。	・当面、コロナの影響で各種大会等のスケジュールが流動的になることが予想されるため、補助対象各種大会の範囲及び代替大会等への派遣補助についても併せて検討し、大会派遣の機会を確保する。 ・派遣に係る費用のうち保護者負担割合は現状50%未満に収まっているため、現行の補助割合は妥当と判断する。
今後の取り組み方針		
・各学校は、参加予定大会の開催可否及びスケジュール変更に常に留意し、補助金交付申請を判断する。また、中止となった大会等で代替開催がある場合の派遣補助を検討し、本事業の目的である「島外の人との交流や競争の機会」を確保する。 ・今後の社会情勢で航空運賃や宿泊費が大幅に値上げされ、保護者負担割合が50%を超えた場合は補助額の見直しを検討する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,200</td><td>4,983</td><td>3,987</td><td>996</td><td>217</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,200	4,983	3,987	996	217
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,200	4,983	3,987	996	217										
久米島町 4,983千円 補助金 4,983千円 学校 4,983千円 保護者 4,983千円 ほか、交付対象外経費 217千円 【補助内容】 ・生徒1名に航空チケット代5,000円、宿泊費上限3,000円／1泊 ・同一大会2回目（決勝や順延）・地区代表派遣の場合 生徒1名に航空チケット代全額、宿泊費上限5,000円／1泊														
評価	点検項目	評価に関する説明												
資金の 流れ、 点検、 費用・ 評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づき選定しており、妥当である。 ○発生した不用額はコロナの影響による大会の中止や旅程短縮に伴うものであるため、補助対象大会、参加人数等について適正な予算規模であったと考える。 ○類似する補助が出るものについては対象外としており、自己負担額も発生しているため受益者には応分の負担をさせている。 ○実績確認で費目・使途を審査しており、真に必要なものと判断した。												
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													